

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-51	高等学校	外国語	コミュニケーション 英語Ⅲ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
9 開隆堂	コⅢ 328	<b>New Discovery English Communication Ⅲ</b>		

## 1. 編修の基本方針

### (1) 学習活動からコミュニケーション活動へスムーズに移行する。

四つの領域の言語活動を有機的に関連づけて総合的に育成することが求められていることに対応して、文構造・文法事項・重要表現にからめる場面と機能表現とを効果的に配置し、教材としての適切性に配慮して、生徒に身近で知的発見のある題材、取り組みやすい言語活動を数多く配置して、生徒の意欲的な発話につながることを重視した。各活動はコミュニケーションの必然性や妥当性を考慮し、コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱで培ったコミュニケーション能力をさらに伸ばすことができるよう配慮した。また、言語の使用場面に特化した言語活動を行うための独立したページを4箇所にした。

### (2) 「コミュニケーション英語Ⅱ」の学習事項をくり返し学習し、コミュニケーション能力を伸ばす工夫。

「コミュニケーション英語Ⅱ」で学んだ学習事項をくり返し学習しその定着を確実に図りながら、英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を無理なく伸ばすことができるよう特段の意を用いた。具体的には、Lesson 1-2, Lesson 6-3, Lesson 8-3, Lesson 9-3, Lesson 10-4で「コミュニケーション英語Ⅱ」で学習した文法事項・文構造を扱い、これらの上に、英語によるコミュニケーションを能力を伸ばすことができるよう配慮した。また、生徒の学習負担を考慮しつつ、高等学校最終学年の段階にふさわしい自然な語彙・表現と構文を用いるよう留意した。

### (3) 生徒の興味と関心を高め、学習意欲を喚起する題材。

異文化理解、日常生活、物語、環境、人生、職業、科学、人権など幅広いジャンルから題材を精選した。本文は生徒が知的な興味をもって楽しく英語の学習が進められるよう発見や意外性のある内容のものを柱に選定し、語学学習だけにとどまらず、教科横断的な学習ができるよう特段の配慮をした。

## 2. 対照表

本教科書は教育基本法、学校教育法に則って編修したが、以下に特に教育基本法第2条（教育の目標）に典型的に対応する部分を示す。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ番号)
題材の配列・構成	「真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと」については、教科書の全題材を通して教科の目標に迫ることで達成できるととらえている。「幅広い知識と教養を身に付け」は、各題材の選定と扱いに活かしている（第1号）。	全課
教科書全体の活動	全課の課末において、ペア活動やグループ活動を通して互いに学び合い、高め合う活動が行えるように配慮した。また、グループやペアでの議論の題材を設定するなどにより、お互いの意見の異同を確認し、尊重する態度を養うことによって、個人・集団としての正義と責任、自他の敬愛と協力の精神が養成されるようにした（第3号）。	全課
Lesson 1 Festivals in the World!	タイの「水かけ祭り」など、日本人が思いもよらない世界の珍しい祭りについての題材を読み、それらの背景にある文化や歴史を学ぶことを通じて、我が国の文化や郷土の良さを見直し、異文化理解を深めることができるように配慮した（第5号）。	pp.17-26
Lesson 2 One Red Paper Clip	1本の赤いクリップから物々交換をくり返し、家を手に入れるという夢を実現させたカナダの青年カイル・マクドナルドの実話を読み、自他の敬愛と協力を重んじ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した（第3号）。	pp.27-37
Lesson 3 Mother to Birds	オーストリアの動物行動学者コンラート・ローレンツの代表的な研究である「刷り込み」現象について書かれた題材を読み、生物に関する幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目指した（第1号）。またそれらの学習を通じて、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことに配慮した（第4号）。	pp.41-50
Lesson 4 The 20-Second Rule	「三日坊主」対策として日常生活のさまざまなシーンで役立つことができる「20秒ルール」について書かれた題材を読み、学習者の日常生活との関連を重視すると同時に、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培えるように配慮した（第2号）。	pp.51-62
Reading Love at First Sight	突如として失明に陥った女性パメラが修理屋ミッチと出会い、交流を通じて互いに恋心を抱くようになった実話を読み、豊かな道徳心を培うとともに（第1号）、正義と責任を重んじた（第3号）。そして、個人の価値を尊重すると同時に自主及び自律の精神を養い、職業及び生活との関連を重視した（第2号）。	pp.64-69
Lesson 5 That Night Changed My Life!	40代半ばでタレント・オーディション番組に参加し、一夜にして時の人となった英国の歌手スーザン・ボイルのシンデレラストーリーと、彼女が歩んできた苦難の来歴を読み、夢を持つことの重要性を学ぶと同時に、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすことを重視した。また、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことを目指した（第2号）。	pp.71-82

<p>Lesson 6 How to Build a Dinosaur</p>	<p>恐竜を現代によみがえらせる方法の探求を続ける古生物学者のジャック・ホーナー氏のプレゼンテーションを読み、幅広い知識と教養を身に付けると同時に（第1号）、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことを目指した（第2号）。また、それらの学習を通じて、生命を尊ぶ態度を養えるように配慮した（第4号）。</p>	<p>pp.83-94</p>
<p>Lesson 7 “Hot” Lunches in Mumbai</p>	<p>インドのムンバイにおける、家庭から毎日弁当を正確に配達するダバワラと呼ばれる弁当配達人に関する題材を読み、その配達システムや彼ら自身が必要とされる社会背景についての理解を深めることで、個人の価値を尊重すると同時に自主及び自律の精神を養い、職業及び生活との関連や、勤労を重んずる態度を養うことを重視した（第2号）。同時に、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した（第5号）。</p>	<p>pp.99-110</p>
<p>Lesson 8 Saving Orphaned Animals</p>	<p>ケニアで動物の孤児院を運営するダフネ・シェルドリックの活動と、その活動を手助けした子ゾウのエレナとの交流を描いた題材を読み、ゾウの社会性や人間と同様に豊かな感情を持つゾウの特性についての理解を深めることで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことに配慮した（第4号）。</p>	<p>pp.111-122</p>
<p>Lesson 9 What Is Needed for Success?</p>	<p>カナダのアイスホッケー選手、モーツァルト、ベートルズ、ビル・ゲイツの成功事例に関する題材を読み、誰にでも平等に与えられた「成功」に関わる不可欠な要素についての理解を深めることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことを目指した（第2号）。</p>	<p>pp.129-140</p>
<p>Lesson 10 Amazing Grace: Song to Soul</p>	<p>「アメージング・グレース」の歌詞が生まれた背景に存在した、奴隷貿易の悲惨さを描いた題材を読み、人権の尊さについて学ぶことを通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した（第5号）。</p>	<p>pp.141-152</p>
<p>Action! 1~4</p>	<p>「旅行の計画」「食事」「ホテル」など、特定の場面でなされる対話を通して、円滑にコミュニケーションを図るための豊かな情操と道徳心を培うことを目指した（第1号）。</p>	<p>pp.38-39, p.63, p.95, pp.126-127</p>

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

#### (1) 学習への動機づけの工夫

生徒の学習意欲を喚起するため、各課の扉ページには題材内容を象徴的に表した図版を大きく用いて、生徒の題材に関する興味・関心を喚起できるよう特段の工夫をした。また、図版の下には **Get Ready** のコーナーを設け、題材に関する背景的な知識を活性化させることを通じて、各課の題材への導入をより容易に行うことができるように意を注いだ。各セクションの冒頭には、例えば、「ソクラーンとはどのような祭りでしょうか。」(Lesson 1-1) のような投げかけを **Pre-Reading Activity** として配置し、題材内容への興味・動機づけを図った。

#### (2) 情報や考えを的確に理解したり伝えたりする能力をいっそう伸ばす工夫

通常課に入る前に配した、英文を読むために身につけたい読解スキルを学ぶページ (**Reading Skill 1~5**, 修飾関係をとらえよう) との有機的な関連のもと、本文の主題や概要の把握を助ける **Overview** や学習した読解スキルを演習する **Reading Skills**, そして本文の内容をまとめた図表などを完成させる **Comprehension** 等の各問題練習を通じて、英文に書かれた情報や考えなどを的確に理解したり伝えたりする能力をいっそう伸ばすことができるよう特段の意を用いた。

#### (3) 書かれていることを深く理解し、英語による表現力をいっそう伸ばす工夫

**Part 1** では各セクションに、**Part 2** では課末に **Check It!** のコーナーを設け、本文の内容について英語の音声聞いて答える正誤問題によって、本文の内容理解を確実なものにし、「聞く」活動を通して情報を的確に理解する能力を養うことができる工夫をした。また **Part 2** の各セクションには英問英答の **Q&A** のコーナーを設け、本文のポイントとなる内容を問う英問英答問題によって、本文内容についての理解度を確認するとともに、英語で答えるための十分な表現力を涵養できる工夫をした。これらにより、本文の内容理解を深め、英語による自己表現力をいっそう伸長できるよう特段の意を用いた。

#### (4) 実際の社会生活において英語を活用できるようにする工夫

空港のターミナルでの会話 (**Listening Practice 1**), ライブコンサートの広告 (**Reading Practice 1**), ホテルで体調が悪くなった時のやりとり (**Action! 3**) など、実際の社会生活を想定して英語が活用できるように場面・状況設定を工夫した。

#### (5) 音声指導の練習の工夫

「発音できない英語は聞き取れない」という考えのもと、ネイティブ・スピーカーの話す英語と同じスピード・発音で話せるようにするための練習として、4箇所には設けた **Listening Practice** のコーナーでは、巻末にスクリプトを掲載し、一度聞いた英文を CD の後について言えるまで練習する活動を取り入れた。

#### (6) 語彙力をさらに拡充する工夫

通常課の英文に出現した語に含まれる接頭辞・語根・接尾辞を提示して語形成の規則を学習するページ (**Enrich Your Vocabulary**) を 2 箇所には配すると同時に、巻末には通常課の題材内容に関連の深い語句を学習するページ (**Power-Up Vocabulary!**) を配し、コミュニケーションを支え、自己表現力を豊かにする語彙力をいっそう拡充する工夫をした。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-51	高等学校	外国語	コミュニケーション 英語Ⅲ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
9 開隆堂	コ III 328	<b>New Discovery English Communication III</b>		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

本教科書は、「英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。」という学習指導要領「コミュニケーション英語Ⅲ」の目標を4単位の授業時数で実現するために、特に以下のような点を工夫して編修し、特色とした。

### (1) 編修上特に意を用いた点

- ア. 「コミュニケーション英語Ⅱ」で伸ばしたコミュニケーション能力を踏まえ、四つの領域の言語活動を有機的に関連づけ、4技能を統合的に育成しコミュニケーション能力を伸ばすことを編修上の最大の基本方針とした。
- イ. 外国の生活や文化について理解を深め尊重する態度を育成するとともに我が国の伝統文化を見直し、これを外国に発信していくための技能の育成にitous資するとともに、豊かな心を育み、国際社会に生きる地球市民を育成するための題材を豊富に取り上げた。
- ウ. 言語の使用場面は、「コミュニケーション英語Ⅲ」の目的を達成するのにふさわしいものを適宜取り上げ、4技能を有機的に組み合わせて活用できるように独自のページ (Action!) を4箇所配した。また、言語活動を設定するには、ペアワークやグループワークなどを通じて場面特有の表現に習熟し、コミュニケーション能力が効果的に養えるよう工夫を凝らした。
- エ. 「発音できない言葉は聞き取れない」という考えのもと、音声については独自のページ (Listening Practice) を4箇所に配し、「聞く」活動を設定した。「読む」活動についても同じ Listening Practice において、一度聞いた英文をCDの後について言えるようになるまで練習する活動を取り入れ、自然なスピードでの確かな発音ができるように工夫した。
- オ. 通常課に入る前に、英文を読むために身につけたい読解スキルを学ぶページ (Reading Skill 1~5, 修飾関係をとらえよう) を配し、コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱで培った基礎的な技術を踏まえ、英文に書かれた情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえながら通常課の英文を効率的に読み進めることができるよう特段の意を配した。
- カ. 通常課の英文に出現した語に含まれる接頭辞・語根・接尾辞を提示して語形成の規則を学習するページ (Enrich Your Vocabulary) を2箇所に配すると同時に、巻末には通常課の題材内容に関連の深い語句を学習するページ (Power-Up Vocabulary!) を配し、コミュニケーションを支え、自己表現力を豊かにする語彙力が体系的に養えるよう特段の意を配した。

### (2) 特色(全体構成と各課の構成など)

通常課全体を大きく分けて2つのパートからなる構成とした。Part 1 (Lesson 1~5) では、セクションごとに見開きの紙面構成、レイアウトとし、コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱと巻頭の Reading Skill 1~5 で培った読解スキルを用いて、さまざまな話題に関する140~190語程度の英文を読み、読解力を鍛える工夫をした。とりわけ、左ページで学習した英文の内容を右ページと課末の練習問題を通じてくり返し確認することのできる工夫をした。

また、Part 2 (Lesson 6~10) では、Reading Skill と Part 1 で培ったスキルを活用しながら、まとまった量の英文を読むことによって、読解の応用力を身につけることのできる工夫をした。また、本文を読んだ後に課末で課全体の内容を確認することのできる工夫をした。

このような本書全体の構成を踏まえ、「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばす」ために、四つの領域の言語活動を有機的に関連づけつつそれらを統合的に活用できるコミュニケーション能力を育成できるよう、以下のような構成とした。

- ア. **Get Ready** : 題材内容についての興味・関心を喚起するための英語による導入問題。英語で投げかけを行い、題材に関する背景的知識を活性化させることで、題材内容への導入をより容易に行うことができるよう工夫した。学習内容への関心や意欲を高め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することを目的としている。
- イ. **本文** : 目標とする事項を含んだ本文を読んで、その理解および定着を図る。各セクションの総語数を **Part 1** では原則として 140~190 語程度、**Part 2** では 130~200 語程度にそれぞれ設定し、「コミュニケーション英語Ⅱ」から段階的に分量を増やすと同時に、生徒への学習段階に応じて段階的にコミュニケーションを支える英文読解力を涵養できるよう特段の意を用いた。また、生徒が「コミュニケーション英語Ⅱ」までに学習してきた 2,148 語の上に、新たに 737 語の新語を加え、本文全体を構成した。とりわけ「コミュニケーション英語Ⅱ」で学習した言語材料の一部を再び取り上げくり返し学習することで、それらの確実な定着を図れるように意を配した。脚注には、代名詞や語句の具体的内容を問う設問や、本文の内容・要点の理解を確認する英問英答の設問である **Q&A (Part 2 のみ)** を設け、本文で読み取った内容の概要や要点を生徒がより確実に理解できるように工夫した。
- ウ. **Overview** : 本文の主題や概要の把握を助ける問題。英語または日本語による設問を配することにより、本文の概要把握を促し、情報や考えを的確に理解したり伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるように意を配した (**Part 1 のみ**)。
- エ. **Reading Skills** : 読解スキルを演習する問題。コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱと巻頭の **Reading Skill** で培った読解スキルを実践的な英文読解に活用することで、英語を「読む」能力を更に伸ばし、英語学習に対する自信の涵養を促すことで、より積極的に英語でのコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことを目的としている (**Part 1 のみ**)。
- オ. **Check It!** : 本文の内容・要点の理解を確認する問題。本文の内容に即した英語の音声を聞いて正しい解答を選択する問題を配し、確実に本文の内容理解を深めるとともに、「聞くこと」を通して情報や考えを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる工夫した。**Part 1** では各セクションに、**Part 2** では課末に同コーナーを配置することにより、学習した本文全体の内容・要点の理解を確認できるように意を配した。これらの作業の拡充を通じて教室では英語による **Q&A** が活発に行われ、生徒が英語に触れ、使用する機会が多くなるようにした。
- カ. **Comprehension** : 本文の内容をまとめた図表などを完成させる問題。学習した読解スキルを活用しながら本文の要点やパラグラフ構成、論理展開などに着目しそれらに応じた英文読解を実践することを通じて、情報や考えを的確に理解したり伝えたりする能力を更に伸ばせるよう意を用いた。
- キ. **Check It Again!** : 本文全体の内容・要点の理解を確認する問題。本文の内容に関する複数の英文を読んで回答する正誤問題または適文選択問題を配し、確実に本文の内容理解を深めるとともに、「読むこと」を通して情報や考えを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる工夫をした (**Part 1 のみ**)。
- ク. **Sum Up!** : 英語を「読む」または「聞く」ことを通して、本文で読んだ内容の概要や要点をとらえ、要約文を完成させるための活動を設けた。
- ケ. **Vocabulary** : 本文ページの傍注や脚注で扱った新出語や重要表現の意味を確認する問題。本文ページで学習した新出語や重要表現の定着を図ることで、語彙力・表現力をいっそう伸ばし、「書く」活動につなげることができるように意を配した。
- コ. **Structure and Expression** : 本文で学習した文構造・文法事項・重要表現について、簡潔な説明とともにわかりやすい例文を提示し、学習内容を整理し、着実に定着が図れるよう配慮した。
- サ. **Practice!** : 本文で学習した文構造・文法事項・重要表現を確認・定着させるための練習問題。各課で学んだ内容を早い段階で復習することにより、学習内容の効率的な定着を図り、確実にコミュニケーション能力の素地を養えるよう工夫を凝らした。
- シ. **Work Together!** : 本文内容と関連したテーマ・話題をもとに行う総合的なコミュニケーション活動。**A** では生徒どうし英語で話し合ったり意見の交換をしたりする「話す」「聞く」活動を通して題材のテーマについて理解を深める活動、**B** ではそれにもとづいて情報や意見を「書き」、それを「話す」活動(発表)を多く取り入れた。
- ス. **Trivia** : 本文内容と関連したテーマ・話題をもとにしミニクイズ。本文を学習し終えた後に背景的知識を再度活性化させることで、学習内容への関心意欲をいっそう高め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することを目的としている (**Part 2 : Lesson 8, Lesson 10 のみ**)。

上記のように、学習指導要領外国語科コミュニケーション英語Ⅲの目標と内容が十分達成できるような構成・内容になるよう特段の工夫をした。

## 2. 対照表

コミュニケーション英語Ⅲの標準単位数は4単位（年間140時間）であることから、本教科書は週4時間の授業時数を想定して編修した。なお、学校行事などのため年間140時間の8割程度が実質可能授業時数であると想定し、120時間程度で本教科書の学習が終えられるよう、全体の分量に配慮した。

以下、具体的に学習指導要領との対照及び配当時数の詳細を示す。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
Reading Skill 1	第2款:第4-2(1)イ, (2)イ/第3款:1働きc, 2ウ(ア)(カ), 3ア/第4款:2(1)アイウ, (2)	6-7	1
Reading Skill 2	第2款:第4-2(1)イ, (2)イ/第3款:1働きbc, 2ウ(カ), 3ア/第4款:2(1)イウエ, (2)	8-9	1
Reading Skill 3	第2款:第4-2(1)イ, (2)イ/第3款:1働きc, 2ウ(カ), 3ア/第4款:2(1)エ, (2)	10-11	1
Reading Skill 4	第2款:第4-2(1)イ, (2)イ/第3款:2ウ(ア), 3ア/第4款:2(1)アエ, (2)	12-13	1
Reading Skill 5	第2款:第4-2(1)イ, (2)イ/第3款:1働きc, 2ウ(ア), 3ア/第4款:2(1)アイウ, (2)	14-15	1
修飾関係をとらえよう	第2款:第4-2(2)イ	16	1
Lesson 1	第2款:第4-2(1)アイウ, (2)イウ, 第4-3(1), (2)/第3款:1場面b働きac, 2イウ(ア)(カ)(キ), 3アイウ, 4/第4款:2(1)アイウエ, (2), (4)	17-26	8
Lesson 2	第2款:第4-2(1)アイ, (2)イウエ, 第4-3(1)/第3款:1場面c働きabcd, 2ウ(ア)(カ)(キ), 3アイウ, 4/第4款:2(1)アエ, (2), (4)	27-37	8
Action! 1	第2款:第4-2(1)イウ, (2)エ/第3款:1場面a働きabd, 3ア/第4款:2(2)	38-39	2
Listening Practice 1	第2款:第4-2(1)アイ, (2)ア/第3款:1場面c働きabe, 3ア/第4款:2(2)	40	1
Lesson 3	第2款:第4-2(1)アイウ, (2)イウエ, 第4-3(1)/第3款:1場面c働きac, 2イウ(ア)(カ)(キ), 3アイウ, 4/第4款:2(1)エ, (2), (4)	41-50	8
Lesson 4	第2款:第4-2(1)アイウ, (2)イウエ, 第4-3(1)/第3款:1場面b働きacd, 2イウ(ア)(カ)(キ), 3アイウ, 4/第4款:2(1)アエ, (2), (4)	51-62	10
Action! 2	第2款:第4-2(1)イ/第3款:1場面a働きabe, 3ア/第4款:2(2)	63	1
Reading	第2款:第4-2(1)イウエ, (2)ウエ, 第4-3(1)/第3款:1働きabcd, 2イウ(ア)(カ)(キ), 3ア/第4款:2(1)アエ, (2)	64-69	5
Listening Practice 2	第2款:第4-2(1)アイ, (2)ア/第3款:2ウ(カ), 3ア/第4款:2(2)	70	1
Lesson 5	第2款:第4-2(1)アイウエ, (2)イウエ, 第4-3(1)/第3款:1場面b働きbcd, 2ウ(ア)(カ)(キ)(ク), 3アイウ, 4/第4款:2(1)アエ, (2), (4)	71-82	10
Lesson 6	第2款:第4-2(1)アイウエ, (2)イ, 第4-3(1), (2)/第3款:1働きabcd, 2イウ(ア)(カ)(キ), 3アイウ, 4/第4款:2(1)エ, (2), (4)	83-94	10
Action! 3	第2款:第4-2(1)イ/第3款:1場面a働きabd, 3ア/第4款:2(2)	95	1
Reading Practice 1	第2款:第4-2(1)イ, (2)ウ/第3款:1場面c, 2ウ(カ), 3ア/第4款:2(2)	96-97	2
Listening Practice 3	第2款:第4-2(1)アイ, (2)ア/第3款:1働きabe, 2ウ(キ), 3ア/第4款:2(2)	98	1
Lesson 7	第2款:第4-2(1)アイウエ, (2)イエ, 第4-3(1)/第3款:1場面b働きcd, 2ウ(カ)(キ), 3アイウ, 4/第4款:2(1)イウ, (2), (4)	99-110	10
Lesson 8	第2款:第4-2(1)アイウエ, (2)イエ, 第4-3(1), (2)/第3款:1働きcd, 2イウ(ア)(カ)(キ)(ク), 3アイウ, 4/第4款:2(1)エ, (2), (4)	111-122	10
Listening Practice 4	第2款:第4-2(1)アイ, (2)ア/第3款:1働きc, 2ウ(カ), 3ア/第4款:2(2)	123	1
Reading Practice 2	第2款:第4-2(1)イ, (2)ウ/第3款:2ウ(キ), 3ア/第4款:2(2)	124-125	2

Action! 4	第2款:第4-2(1)イエ／第3款:1場面a働きb, 3ア／第4款:2(2)	126-127	2
Enrich Your Vocabulary ①	第2款:第4-2(2)ウ／第3款:2ア(ア)／第4款:2(3)	128	1
Lesson 9	第2款:第4-2(1)アイウエ, (2)イウエ, 第4-3(1), (2)／第3款:1場面c働きcd, 2ウ(イ)(キ)(ク), 3アイウ, 4／第4款:2(1)アエ, (2), (4)	129-140	10
Lesson 10	第2款:第4-2(1)アイエ, (2)イエ, 第4-3(1), (2)／第3款:1働きc, 2ウ(ア)(イ)(キ), 3アイウ, 4／第4款:2(1)アイエ, (2), (4)	141-152	10
Enrich Your Vocabulary ②	第2款:第4-2(2)ウ／第3款:2ア(ア)／第4款:2(3)	153	1
Power-Up Vocabulary!	第3款:2ア(ア)	158-162	-
Useful Phrases & Idioms	第3款:2ア(イ)	164-169	-
		計	121

教科書全体の英語	教科書で使用されている英文は全て, 現代の標準的な英語を使用するように配慮した(第3款:3(ア))	全課	-
・新出語:737語 ・「コミュニケーション英語Ⅱ」までに学習した語:2,148語 ・連語及び慣用表現	第3款:2ア(ア)(イ)	本文ページ 傍注及び 脚注	-